

疾病治療学C

必修

開講年次：2年次後期

科目区分：演習

単位：1単位

講義時間：30時間

■**科目のねらい**：疾病治療学概論を踏まえ、疾患の成立にかかわる基本的病態の概念を述べ、各臓器・器官がどのような病態と なって疾病へと移行して要治療となるのかを学習する。ここでは、外科疾患、感覚器系疾患、歯科・口腔系疾患、脳・神経系 疾患について学習する。

■**到達目標**：各臓器・器官の機能のメカニズムと心身の相関関係について理解し、あらゆる健康状態にある対象と家族への看護 実践に必要な健康障害と診療方法の基礎的知識を習得する。

■**担当教員**：

三澤 一仁

■**授業計画・内容**：

外科疾患

第1回 消化器外科(1)

第2回 消化器外科(2)

第3回 乳腺外科

第4回 小児外科ほか

感覚器系疾患

第5回 皮膚疾患と治療(1)

第6回 皮膚疾患と治療(2)

第7回 屈折異常と前眼部疾患

第8回 眼底と視路の疾患

第9回 耳・鼻副鼻腔疾患

第10回 口腔咽喉頭・頸部疾患、頭頸部腫瘍

歯科・口腔系疾患

第11回 歯科疾患と治療

脳・神経系疾患

第12回 中枢神経疾患

第13回 末梢神経、筋疾患

第14回 脳神経外科(1)：脳血管障害、頭部外傷

第15回 脳神経外科(2)：脳腫瘍、小児脳神経外科

■**教科書**：『臨床病態学』第1・3巻(ヌーヴェルヒロカワ)

■**参考文献**：『神経内科ハンドブック』(医学書院)

■**成績評価基準と方法**：出席状況および試験

評価方法	到達目標	評価基準	評価割合(%)
定期試験	◎	60%以上	90%
出席	○		10%

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：

■**その他(学生へのメッセージ・履修上の留意点)**：